



東日本大震災発生から、約1年後
2012年3月31日
黒潮町に突き付けられたこと・・・

予想される南海トラフ巨大地震(新想定)

- ・黒潮町の最大震度「7」
- ・黒潮町で予想される津波「34.4m」
- ・高知県沿岸の到達時間「2分」

以上。



平成24年4月1日

職員各位
国の想定を受けた今後の黒潮町の津波対策について
町長

【国が公表した検討結果を受けて】
去る3月31日、国(内閣府)が公表した、予想される津波の推計結果についてはすでに周知のことである。当町においては、34.4mという国内最大の津波高が示された。

この内容に際し、町としてまず確認すべきことについて、同日午後、幹部職員と防災担当で構成する南海地震対策推進本部会議を開催し検討をした。この結果も踏まえ、職員に対し、以下の内容を伝達する。

【基本的な考え方】
東日本大震災を受け、それ以前の想定や対策のあり方は住民の皆さまの命を守ることはできないとの考えから、昨年7月に南海地震対策推進本部を設置し、津波対策を中心に関係機関と知恵を出し合い、住民の皆さまとも協議しつつ、対策の見直しと事業の推進もしてきたところである。

この見直し作業においては、津波高5～8mと予想された「3.11」以前の想定を大きく上回る10m程度の新しい想定が示されることを予想しつつ、その想定を超えたとしても、さらに高いところへ避難できる場所を整備するという方針を基本としてきた。

今回の公表結果は、この1年で見直してきた対策と今後予定していた当面の計画を覆す内容であり、対応の困難さを改めて痛感させられたが、以下の点に留意する必要がある。

- ・34.4mという値は、黒潮町のどの地点での予測なのか不明であること
- ・波高(津波そのものの高さ)と遡上高(陸域での到達高さ)などの関係性が不明であること
- ・浸水域(浸水の影響する範囲)や浸水深(地点ごとの浸水深さ)などの情報が不明であること
- ・発生する最大規模の予測ではあるが、必ずしも次に発生する地震と津波を予測したものではないこと

これらの留意すべき点を踏まえ、**真の当事者である住民の皆さまに過度の不安を与えないよう配慮しつつ、必要な情報の収集を急ぎ、知れた内容を精査し、迅速に発信・共有することを基本として対策を講じる。**

「どうしようもない」と対策を諦めたり、「生活ができる町でない」と、これまでやこれからの町の望みを否定するような考え、また、発言はその一切を禁止する。

国もそのような意図で今回の検討結果を示したのではなく、今後の検討材料として真摯に受け止め、冷静に検討することを促しているものであると正しく理解し、今後の行動、発言の一切は課題解決に向けたものとする。

先に述べたとおり、さらに避難できる場所を模索してきたこの間の見直し作業は、今回の想定にも対応できるものであり、今一度、**住民の皆さまの命を守るという大原則に立ち返り、作業を速々と進めていく**所存である。

しかしながら、対応を急がれるこの対策を集中的に進めるためには、津波対策のみならず、町のあらゆる事業を見直し、この課題にいかに向き合い、対応していくことができるのかを模索する作業が急がれることは職員各位も理解しているものと思ふ。

ただ、津波対策を重点的に進めるとはいえ、その前提には「まち全体」の危機的状況への対策であるということも、まずは**職員の緊急としておく**ことが肝要である。

こうしたことを踏まえ、今後の対応については、直接的な防災部門のみならず、すべての職場が関係し、すべての職員が当事者であることを理解し、相互の協力のもと、この課題に立ち向かうことの必要性を確認していただきたい。

最後に、**私たちに課せられた使命は、これまで多く(の先輩方のご尽力により受け継がれてきたこの町を、次の世代にしっかりと引き継いでいくことであり、承継的に町が継続されていく施策を講じることである。**

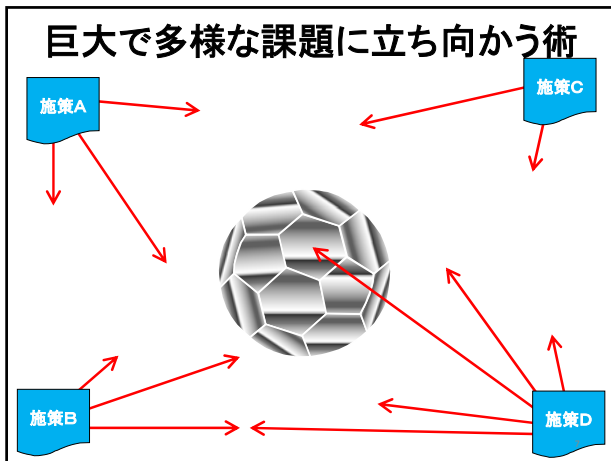
今後も黒潮町は新しい命を育み、また、育み続け、生産活動を行い、また、行い続け、**故郷に誇りを持ち、また、持ち続け永久に受け継がれていく。**

これまで行政組織として長き年月で得た知識と経験を、今こそ發揮し、この命を引き継ぐ望みを必ず実現する。**困難な道のりにはなるが、職員一同の奮起を要請する。**

【対応方針】
・町の緊急かつ最優先課題と位置づける。
・住民の命を守る対策を徹底的に推進する。

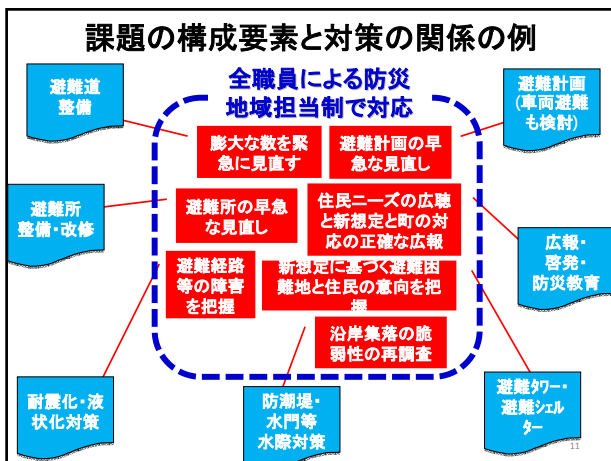
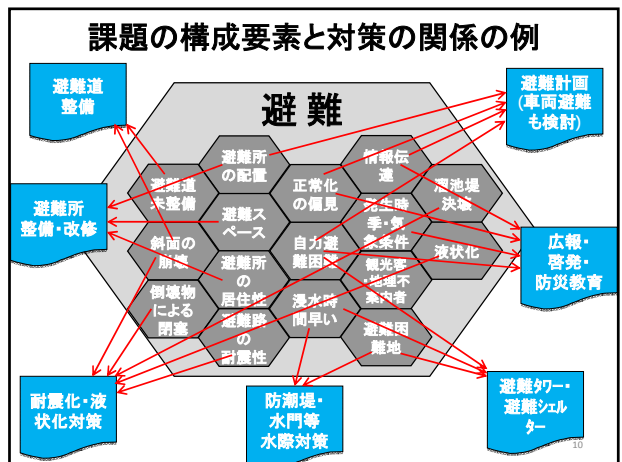
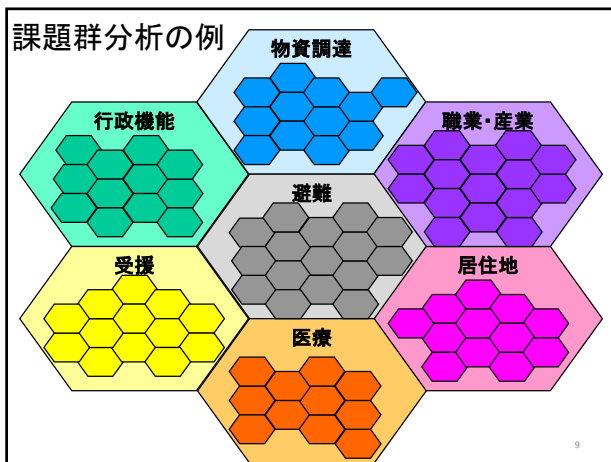
【当面の対応内容等】
・早急に公表内容の精査と関連情報の収集を行う。
・対応方針に基づき、町職員が一丸となって対応することの意思統一を促す。
・対策を講じるため、町の人的・財政的資源の配分を見直す。
・推進体制を早急に整え、トップスピードで対策を講じる。
・この間見直してきた津波対策(当面の計画)を再度見直す。
・国に対し、南海トラフ巨大地震対策に関連する法整備の早期実現を要請する。
・国及び県並びに専門機関等に対し、財政支援及び科学的知見に基づく技術支援等を要請する。





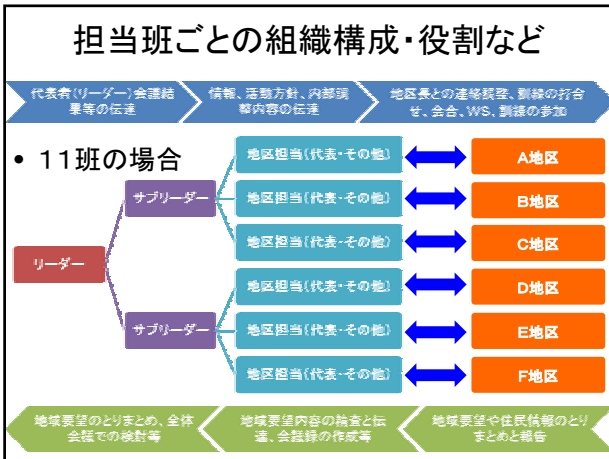
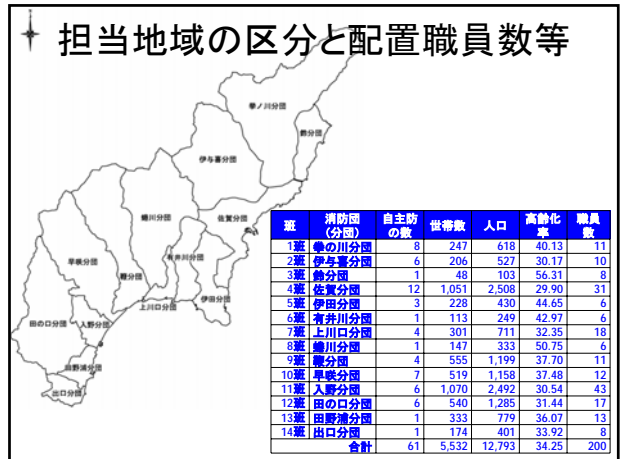
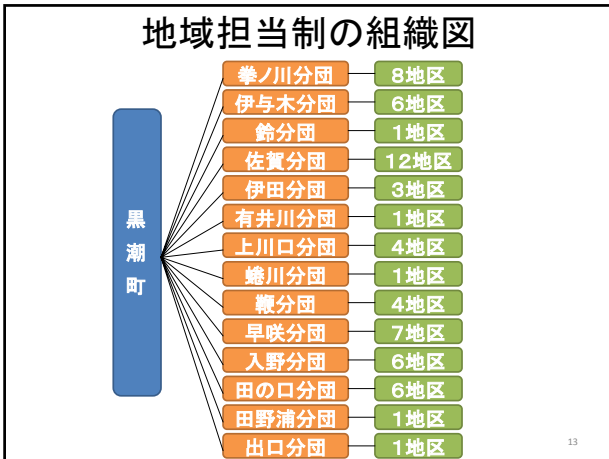
課題を細分化（虚像の実像化）

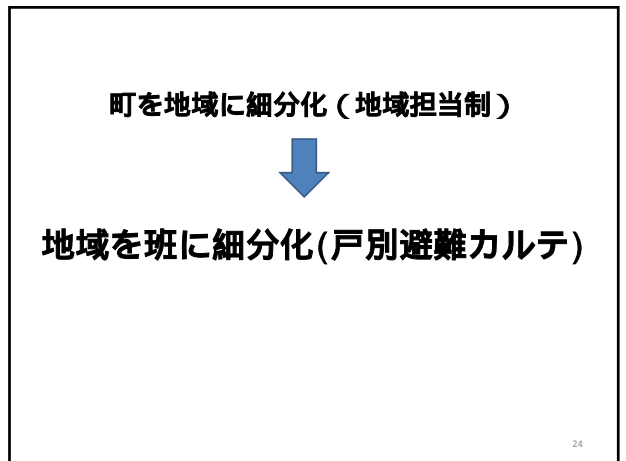
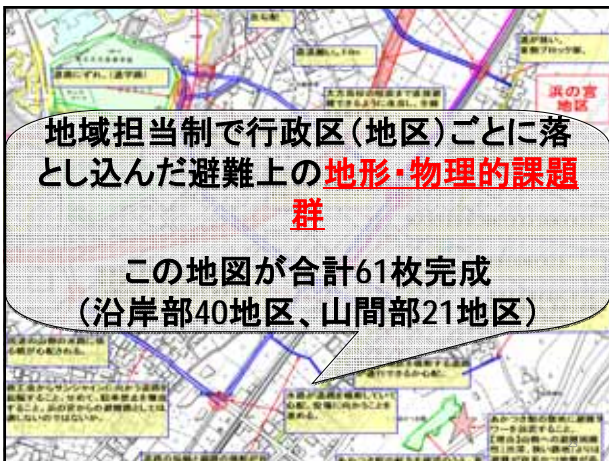
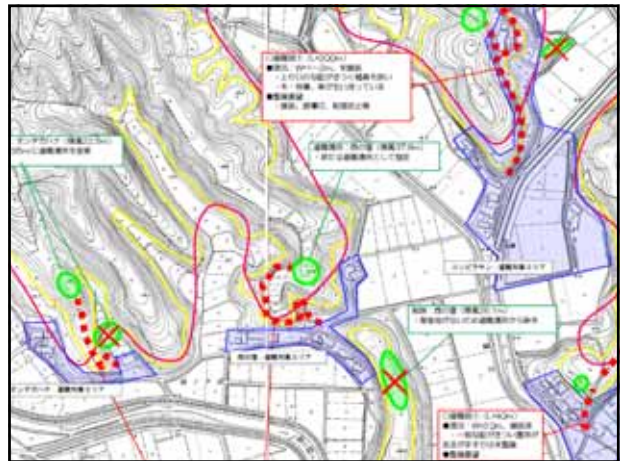
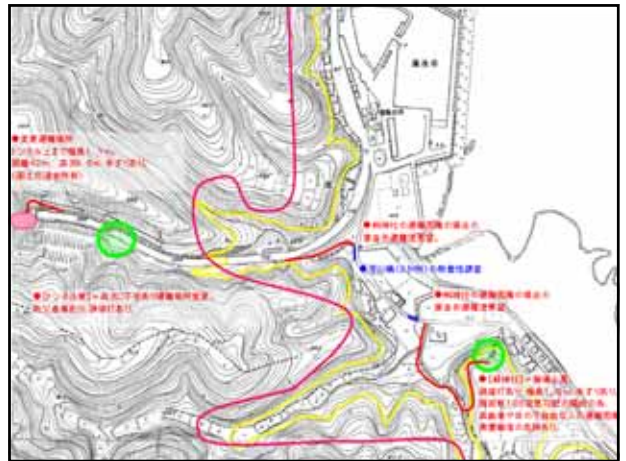
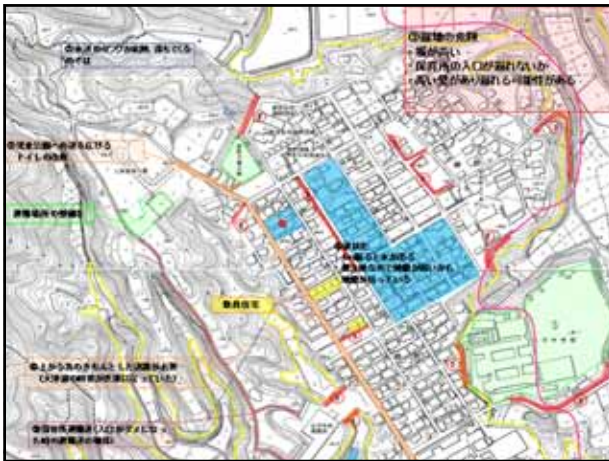
8

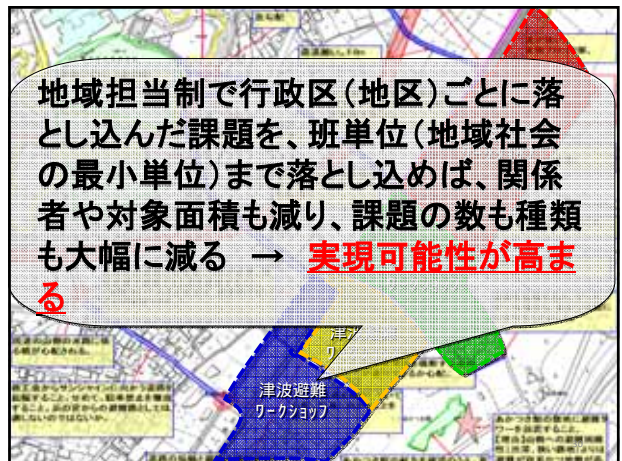
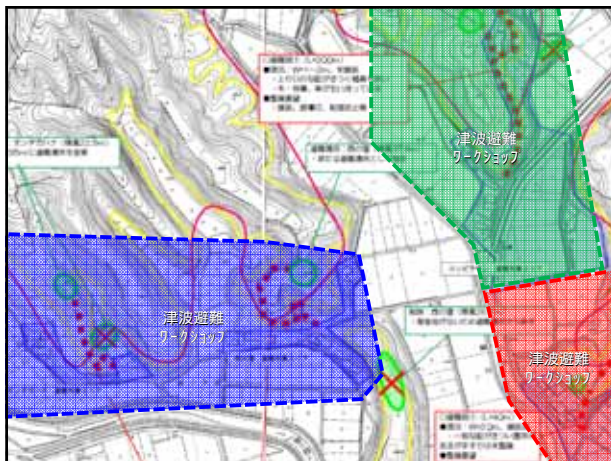
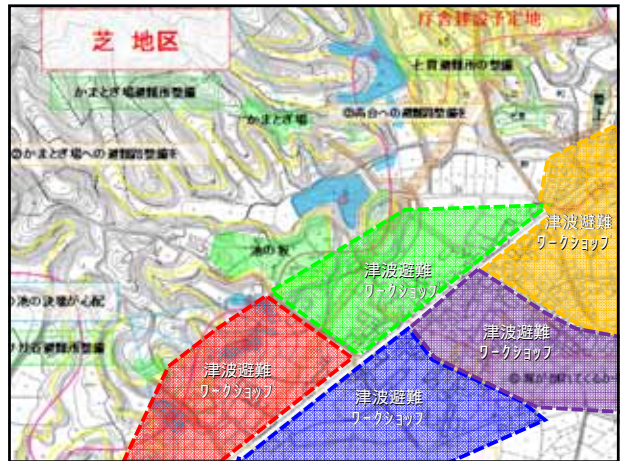
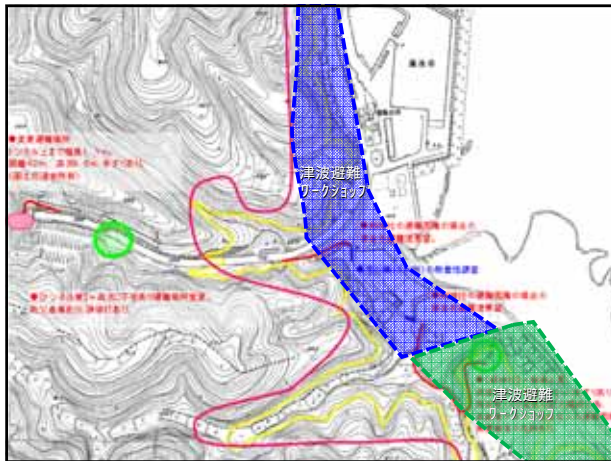
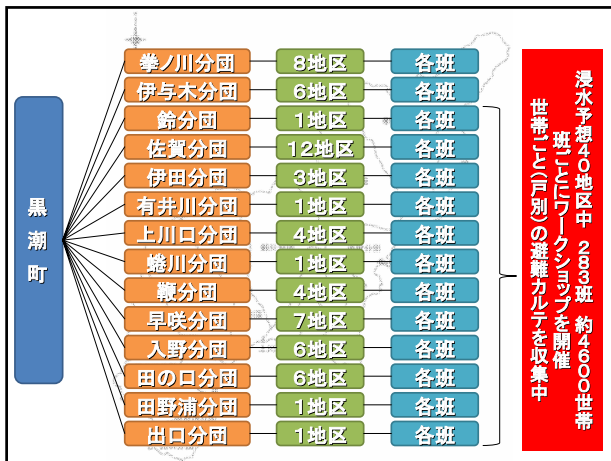


町を地域に細分化（地域担当制）

12







世帯別津波避難行動記入シート

※世帯内の世帯員を記入してください。

世帯NO	お名前 (ご氏名)	性別	年齢	ご自分で避難 可能な状況	避難訓練参加状況
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

※避難先を記載してください。

第1避難先 _____

第2避難先 _____

第3避難先 _____

※津波避難の情報を記入してください。

世帯NO	第1避難先	第2避難先	いつ頃	避難経路(避難場所)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

※現在考えられている津波避難の方法を記入してください。

世帯NO	どのような方法で避難を考えていますか
1	徒歩・自転車・バイク・自動車 等の別
2	徒歩・自転車・バイク・自動車 等の別
3	徒歩・自転車・バイク・自動車 等の別
4	徒歩・自転車・バイク・自動車 等の別
5	徒歩・自転車・バイク・自動車 等の別
6	徒歩・自転車・バイク・自動車 等の別
7	徒歩・自転車・バイク・自動車 等の別
8	徒歩・自転車・バイク・自動車 等の別

※災害時の「防災となり組」が避難行動が速く、安全と、避難の助け合いが重要となります。このようになり、近所の助け合いを「防災となり組」と呼んでいます。あなただけ「防災となり組」となり得る方を記載してください。

「防災となり組」① _____ さん(自宅から 避難)

「防災となり組」② _____ さん(自宅から 避難)

「防災となり組」③ _____ さん(自宅から 避難)

※ご自身の情報を記入してください。

ご自宅	緊急時又は避難先	避難経路	避難訓練実施
ご住所 _____	緊急時 _____	避難経路 _____	避難訓練実施 _____

※家具転倒防止の取組状況を記入してください。

ご住所 _____ 家具の固定 _____

ご住所 _____ 固定済み() / 固定していない()

※避難する上で不安なこと等があれば記載してください。(自由記入)

※ご家族で障がいまたはOB、ODで医師、看護師、薬剤師、保健師、社会福祉士、児童福祉司、作業療法士、ヘルパー、警察、消防士などの有資格者がいらっしゃいましたら、その情報を記載してください。

※個人情報保護及び共有について
世帯別津波避難行動記入シートは、個人情報が記載されたものであり、関係者のみで共有させていただきます。また、この情報は関係機関へ提供させていただきます。下記の関係機関で共有させていただきます。関係機関の今後の対応方針に準じてまいります。関係機関へ共有する場合は、関係機関ごとの同意をいただきます。併せて関係機関へ共有する場合は、関係機関ごとの同意をいただきます。

関係機関	共有範囲
自治体	避難訓練 消防団 防災 民生委員 消防団

【世帯別津波避難行動カルテ】

情報の共有範囲 ※情報共有してもらいたくない機関(警察、消防団など)

津波浸水危険地域名	班	津波浸水予測時間	予測最大浸水深
世帯NO 1	避難場所		

連絡先 _____

カルテ年度 H25

世帯員状況

氏名、年齢、性別	避難場所	避難訓練参加状況	自分避難の可否と支援者	避難手段(徒歩、車など)

最寄りとなり組 (1) _____ (2) _____ (3) _____

耐震環境	家具	建築年度、耐震診断、改修の有無	(特記事項)

避難の課題 _____

※家族内の有資格者(医療従事者、消防関係など)

自宅から第1次避難所までの
確実な避難行動の診断(所見)

【避難場所へのアクセス状況】
図示

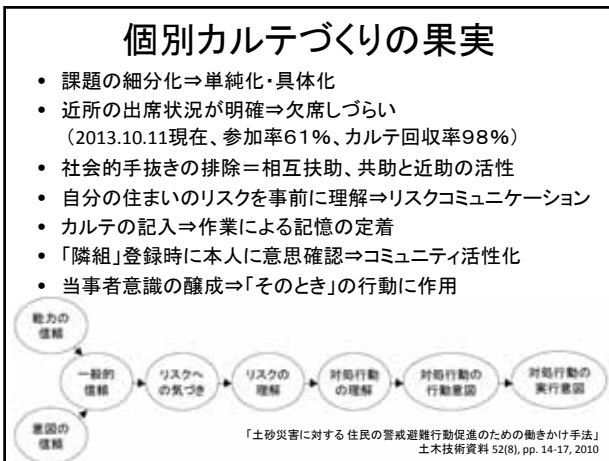


個別カルテづくりで世帯ごとに溶かした
込んだ避難上の**人的・行動的課題群**

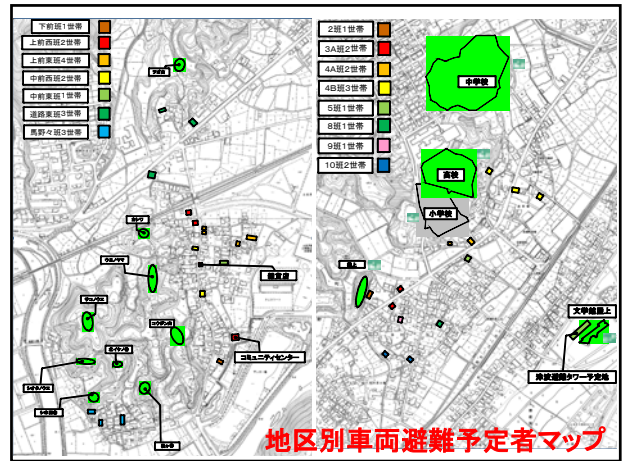
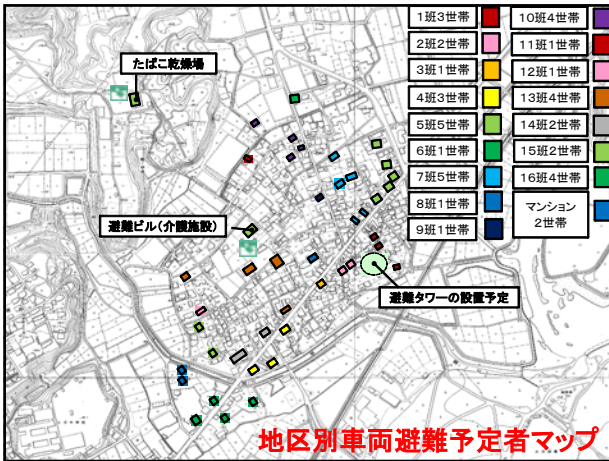
このカルテを約4,600枚収集する予定
(沿岸部40地区、283班)

今後は、把握した課題群(物的・人的)の解決に向けた対策にシフト

※2013/10/11現在 3,031世帯分を収集



対策の具体化(処方箋づくりへ)



ふりかえり

39

南海地震と向かい合い、地震・津波と日本一うまく付き合う、黒潮町の防災計画の考え方

あきらめない。揺れたら逃げる。より早く、より安全なところへ。

短期計画 → 中期計画 → 長期計画

揺れたら逃げる

- 避難誘導を促さない避難所の整備
- 避難経路の整備
- 避難経路の早期完成・精度の高度化を図る
- 避難経路の早期完成・精度の高度化を図る
- 避難経路の早期完成・精度の高度化を図る

揺れる前に逃げる

- 住宅の安全確保
- 公共施設(保育所・学校施設)
- 公共施設(集会所)

避難・被害の強化

- 町内の消防団管轄区域ごとに消防防災組織の強化を図る。
- 町内公共施設及び避難場所、避難地を定めて支援する協定の締結を図る。
- 避難を自力で受け入れる自治体の誘いを図る。

39

第2次黒潮町南海地震・津波防災計画の基本的な考え方

はじめに...

ふるさと黒潮町は、上代の白鳳地震以来、100年～150年に一度南海地震という大規模自然災害との共存を余儀なくされてきた。そのような中、2012年には、南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高の推計が、内閣府及び高知県から公表された。その内容は、最大震度が7、最大津波高が34mという日本一厳しい数字であり、2011年3月の東北地方太平洋沖地震の発生以降慎重に見直してきた、黒潮町の防災計画と対策事業をさらに見直さなければならない、極めて厳しいものであった。

当然のことであるが、黒潮町は、いかなる困難な状況に直面しようとも、まず住民の命を守るということを大原則としながら、これからも豊かなまちづくりを推進し、先人から受け継いだ「ふるさと」を次の世代へしっかりと引き継いでいく取り組みを続けていく方針については、いささかも変わることはない。そのために、南海地震としっかりと向き合い、地震・津波と日本一うまく付き合う黒潮町の南海地震防災計画の考え方をもって、今後のまちづくりを推進していく。

41

- 第2次黒潮町南海地震・津波防災計画の基本的な考え方
- 最大津波高34mの町で犠牲者ゼロをめざす15の指針
1. 防災教育・啓発について
 2. 避難場所の考え方と整備について
 3. 車両避難について
 4. 拠点の公共施設について
 5. 保育所・学校施設について
 6. 安全な住宅地の形成について
 7. 防潮堤及び堤防整備について
 8. 情報伝達システムについて
 9. 危機管理の備えについて
 10. 孤立集落対策について
 11. 防災新技術の導入について
 12. 自主防災会の組織機能強化について
 13. 防災地域担当制について
 14. 揺れへの対策について
 15. 目標年次
- 42

第2次黒潮町南海地震・津波防災計画の基本的な考え方

むすびに...

2012年に内閣府中央防災会議南海トラフの巨大地震モデル検討会が公表した南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高及び浸水域の推計とその被害想定については、黒潮町としては、2011年3月の東北地方太平洋沖地震の教訓を受けた専門委員が、現在における最高の科学的知見をもって生みだし、勇気を持って公表されたものとして高く評価をする。

しかしながら、それは、ふるさと黒潮町が、最大震度が7、最大津波高が34mという、日本一厳しく、にわかには信じがたいような地震・津波災害に襲われる可能性があるということが科学的に示されたということであり、その現実を、私たちはしっかりと受け止めなければならない。

私たちにとっては、大変困難な道のりとなるが、先人から受け継いだふるさとを守り、次の世代へしっかりと引き継ぐ確実な取り組みを急がなければならない。すでに、日本一危険な数値が示された町への風評被害は肌で感じている。戦略を持って対策を打たなければ、次の南海地震に襲われる前に、この町は震災前過疎の波に飲み込まれる危険性も秘めてきた。

住民の命を守る「防災・減災対策」で町が破綻することがないよう、基礎自治体がこの現実と向き合い、しっかりと対処できるような国の制度政策による力強い支援を期待したい。

日/曜日	時 限	場 所	内 容	参加人数	備 考
11	水 10:40～11:00	佐賀保育園	福祉係	83	
19	木 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	162	避難訓練10:00 避難後昇降10:17
20	金 9:40～10:10	大牟田保育園	福祉係	207	
23	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	避難訓練より10分不参員訓練終了
24	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	164	
25	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
26	木 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
27	金 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
28	土 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
29	日 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
30	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
31	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
合計				11回	866人

平成24年4月		累計
11回	866人	11回 / 866人

44

日/曜日	時 限	場 所	内 容	参加人数	備 考
1	水 10:00～10:30	佐賀保育園	福祉係	83	
9	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	162	
17	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	207	
21	日 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
22	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	164	
23	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
24	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
25	木 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
26	金 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
27	土 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
28	日 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
29	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
30	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
31	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
合計				18回	744人

平成24年5月		累計
18回	744人	29回 / 1,610人

45

日/曜日	時 限	場 所	内 容	参加人数	備 考
1	水 10:00～10:30	佐賀保育園	福祉係	83	
9	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	162	
17	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	207	
21	日 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
22	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	164	
23	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
24	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
25	木 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
26	金 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
27	土 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
28	日 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
29	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
30	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
31	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
合計				18回	1668人

平成24年6月		累計
49回	1,776人	78回 / 3,380人

46

日/曜日	時 限	場 所	内 容	参加人数	備 考
1	水 10:00～10:30	佐賀保育園	福祉係	83	
9	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	162	
17	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	207	
21	日 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
22	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	164	
23	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
24	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
25	木 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
26	金 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
27	土 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
28	日 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
29	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
30	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
31	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
合計				68回	2,148人

平成24年7月		累計
68回	2,148人	146回 / 5,528人

47

日/曜日	時 限	場 所	内 容	参加人数	備 考
1	水 10:00～10:30	佐賀保育園	福祉係	83	
9	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	162	
17	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	207	
21	日 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
22	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	164	
23	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
24	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
25	木 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
26	金 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
27	土 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
28	日 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
29	月 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
30	火 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
31	水 9:30～10:00	大牟田保育園	福祉係	160	
合計				17回	245人

平成24年8月		累計
17回	245人	163回 / 5,773人

48

日	時	場	種	内 容	参加者数	備 考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
合計					168	9,964
年度累計						

平成24年9月 累計
5回/4,191人 168回/9,964人

日	時	場	種	内 容	参加者数	備 考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
合計					168	10,699
年度累計						

平成24年10月 累計
20回/735人 188回/10,699人

日	時	場	種	内 容	参加者数	備 考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
合計					202	11,995
年度累計						

平成24年11月 累計
14回/1,296人 202回/11,995人

日	時	場	種	内 容	参加者数	備 考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
合計					14	315
年度累計					216	12,310

平成24年12月 累計
14回/315人 216回/12,310人

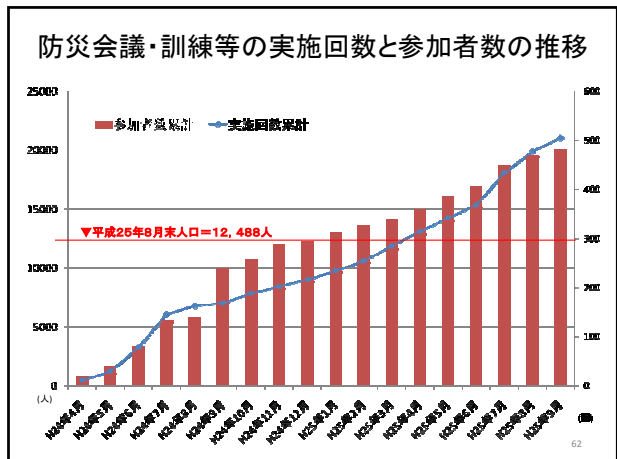
日	時	場	種	内 容	参加者数	備 考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
合計					18	679
年度累計					234	12,989

平成25年1月 累計
18回/679人 234回/12,989人

日	時	場	種	内 容	参加者数	備 考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
合計					20	630
年度累計					254	13,619

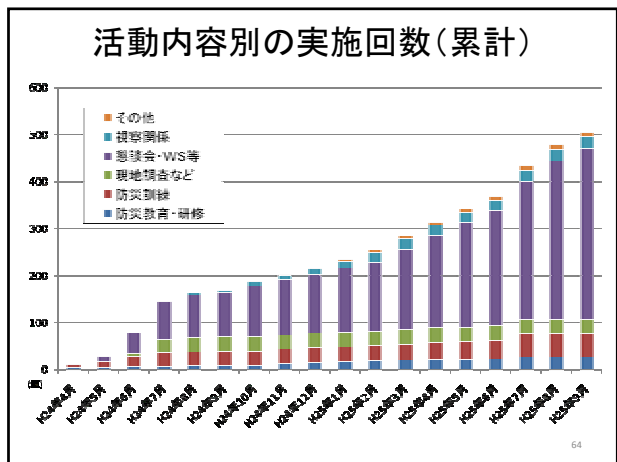
平成25年2月 累計
20回/630人 254回/13,619人

日	日	時間	名称	内容	参加人数	備考
1	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	48	防災委員で中止、防災訓練のみの実施 人数不足、参加者なし
2	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
3	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
4	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
5	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
6	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
7	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
8	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
9	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
10	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
11	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
12	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
13	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
14	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
15	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
16	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
17	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
18	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
19	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
20	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
21	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
22	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
23	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
24	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
25	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
26	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
27	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
28	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
29	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
30	1940-2100	防災委員会	防災委員会	防災委員会	18	防災委員18人、地域関係者、避難者2人
平成25年9月					27回	398人
累計					505回	20,093人



活動内容別の実施回数(累計)

年月	防災教育・研修	防災訓練	現地調査など	懇談会・WS等	視察関係	その他	合計
H24年4月	4	7	0	0	0	0	11
H24年5月	4	13	0	12	0	0	29
H24年6月	6	22	7	43	0	0	78
H24年7月	7	29	27	81	2	0	146
H24年8月	8	29	31	91	4	0	163
H24年9月	8	30	31	95	4	0	168
H24年10月	8	30	31	109	9	1	188
H24年11月	13	30	31	117	9	2	202
H24年12月	16	31	31	123	13	2	216
H25年1月	17	32	31	136	15	3	234
H25年2月	19	32	31	146	20	6	254
H25年3月	20	34	31	171	22	6	284
H25年4月	22	36	31	197	22	6	314
H25年5月	22	37	31	223	22	7	342
H25年6月	23	39	31	245	22	8	368
H25年7月	27	49	31	293	24	10	434
H25年8月	27	49	31	337	24	10	478
H25年9月	27	50	31	363	24	10	505



個別カルテづくりの果実

- 課題の細分化⇒単純化・具体化
- 近所の出席状況が明確⇒欠席しづらい
(2013.10.11現在、参加率61%、カルテ回収率98%)
- 社会的な手抜きの排除⇒相互扶助、共助と近助の活性
- 自分の住まいのリスクを事前に理解⇒リスクコミュニケーション
- カルテの記入⇒作業による記憶の定着
- 「隣組」登録時に本人に意思確認⇒コミュニティ活性化
- 当事者意識の醸成⇒「そのとき」の行動に作用

「土砂災害に対する住民の警戒避難行動促進のための働きかけ手法」
土木技術資料 52(8), pp. 14-17, 2010

南郷小学校の“下校中の避難訓練”に参加！ (地域担当職員の独り言です。)

10月17日(木)、南郷小学校児童による“下校中の避難訓練”に防災担当職員2名と地域担当職員3名が参加してきました。(校務員も地域担当職員ですが、ここでは学校職員の位置づけとします。)

今後、南郷小でも意見集約をし、発表などでお話をきく機会があるかもしれませんが、どうしてもナマの声をきいていただきたかったので簡単ではありますが、情報提供します。

◆訓練の流れ◆

16時に児童は下校を開始、16時05分に地区の放送で避難開始。その後、点呼、帰宅、役場・学区長との連絡。(※もちろん、この避難訓練を児童・地域は知りません。児童の避難訓練である内容で放送しました。)

避難放送を聞いた時点でその場所から一番近い避難場所(観集会所・南郷小裏山・弘野団地)へ駆け上がりました。※避難児童は全部で30人

防災・地域担当職員は学校職員の方々と同様に避難路や避難場所に分かれて、一緒に避難。ちなみに私は弘野団地へ避難でした。

児童は坂の下から息を切らしながら重いランドセルを背負い避難場所まで駆け上がりました。

そこで今回、避難場所でも点呼した後に、それぞれの児童より“ひとこと”もらいましたのでご紹介します。

